

インフルエンザウイルス 不活化試験結果の概要

*** 不活化とは、ウイルスが死滅することです。***

[試験機関] (株)食環境衛生研究所

[試験資材] オキシリンク-S P (1,000・5,000・10,000倍希釈)

≡ オキシリンクSPスプレー 換算濃度：(60%・12%・6%)

[試験対象] インフルエンザウイルス(H1N1)：20,000,000株 (株 = 個数)

[試験内容] 試験資材が試験対象に及ぼす不活化効果の検証 (試験①② & 試験③)

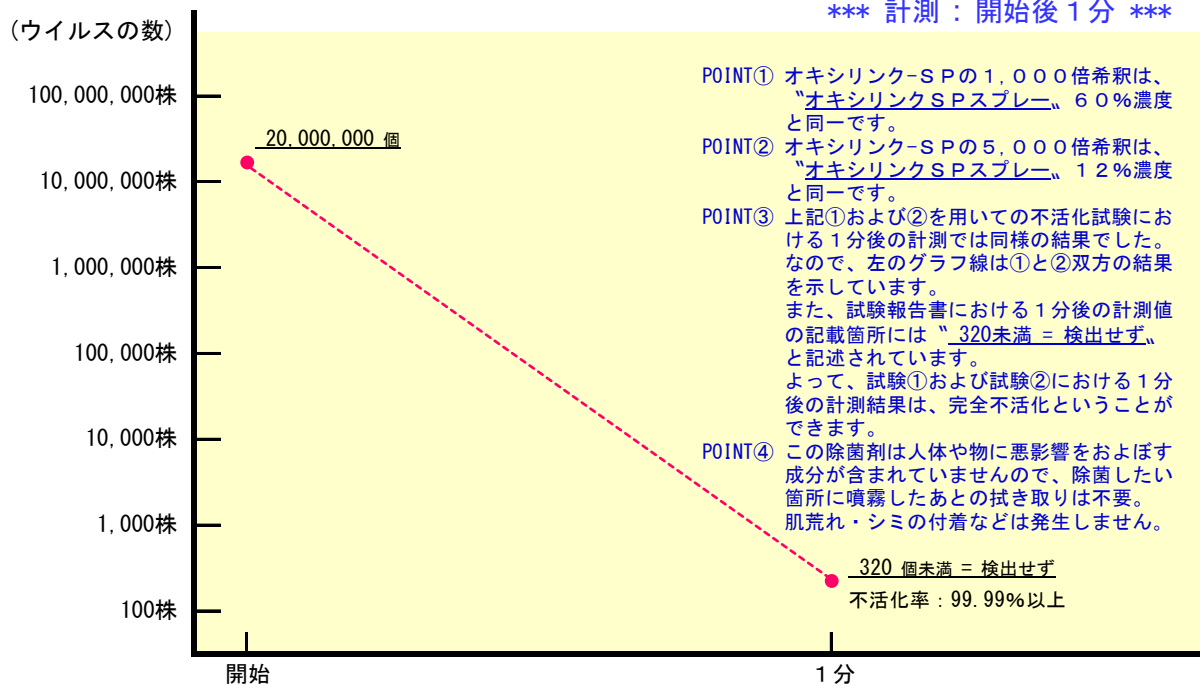
[試験開始] 2013.02.04

[試験終了] 2013.06.20 (試験機関による報告書作成日)

*** 菌やウイルスの死滅表現：菌 → “死滅”、ウイルス → “不活化” ***

【試験①②】 1,000倍希釈、5,000倍希釈、で実施した場合の不活化効果試験

*** 計測：開始後1分 ***



【試験③】 10,000倍希釈 で実施した場合の不活化効果試験

*** 計測：開始後1分 ***

